

B.S.	D 2	河合 雅雄	ニホンザルにおける活動様式と社会関係の量的研究
J. プル	D 2	川村 俊蔵	ニホンザルの clustering に関する比較行動学的研究
十川和博	D 1	高橋 健治	霊長類の組織タンパク質の分解機作の研究
浜田生馬	D 1	久保田 競	霊長類行動発現の機構の神経生理学的研究
丸橋珠樹	M 2	河合 雅雄	垂直分布に基づいたニホンザル自然群の生態学的研究
森山昭彦	M 2	高橋 健治	霊長類のタンパク質分解酵素の性状の研究
伊藤真一	M 1	久保田 競	霊長類の知覚機能の選択と注意の神経機構の研究
川本 芳	M 1	野沢 謙	遺伝的変異よりみた霊長類の系統に関する研究
小島哲也	M 1	室伏 靖子	ニホンザルにおける個体認知行動の実験的分析
藤田和生	M 1		
松本 真	M 1	江原 昭善	霊長類各分類群における上顎骨の形態学的研究

所内談話会

昭和51年度には所内談話会が9回開催された。前年度に引き続き毎月第2第4水曜日の午後に行なわれた。以下に演者と演題を記す。

1. 第44回 4月21日(水)
インドネシアの地質発達史

2. 第45回 5月26日(水)
海外学術調査(エチオピア)報告
河合雅雄・岩本光雄
庄武孝義・森 梅代
菅原和孝
3. 第46回 6月16日(水)
ニホンザルのペプシン：蛋白質化学と胃内消化での役割
景 山 節
4. 第47回 7月14日(水)
ホルモン分解に関与する酵素について
林 基 治
5. 第48回 7月21日(水)
海外学術調査(南米)報告
渡辺 毅・西邨顕達
6. 第49回 9月22日(水)
マカク属サルにおける生体異物の解毒：グルタチオン抱合酵素の性質と作用
浅 岡 一 雄
7. 第50回 12月8日(水)
Ecological Background to Evolution in Africa
Jonathan Kingdon
8. 第51回 12月15日(水)
(1) アメリカ霊長研の現状
(2) ヒト鎌状赤血球ヘモグロビンSとサルヘモグロビンとの相互作用
竹 中 修
9. 第52回 1月26日(水)
ゲラダヒヒの地域社会
大 沢 秀 行